

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	中津川市	学校名	中津川市立田瀬小学校		
校長名	林 義成	対象学年	全学年	人数	51人
活動名	私たちの付知川（第3学年） 田瀬の歴史文化財（第4学年） 田瀬の豊かな農業（第5学年） 福祉：誰もが笑顔になるために（第6学年） 「田瀬っ子祭り（生活・総合発表会）」（全学年）	時間数	第3学年（49） 第4学年（33） 第5学年（33） 第6学年（36） 全校（3）	継続年数	15年
題材	① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他） ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） ⑤ 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 ⑥ その他（		[付知川と水] [田瀬の歴史] [南宮神社に伝わる伝統行事] [田瀬の農業] [自分達にできること・福祉] []		
複数年継続するための工夫改善	学んだふるさとのよさを発信する場として「田瀬っ子祭り」を開催することで、日頃お世話になっている地域の方々や高齢者を一度に招待することができる。「伝える」ために児童はまとめ方や発表の仕方を真剣に工夫する。「田瀬のよさを改めて知った!」「元気をもらった。」等の感想を直接聞き、児童と職員共に大きな達成感をもち次への意欲につなげている。				
<p>1 ねらい</p> <p>地域の自然や人々の中に入り込んで調査や取材を行うことで、ふるさと田瀬のよさを知り「大事にしたい。」「よりよくしたい。」と願う児童を育てる。</p> <p>学習したことを地域の方々に見てもらい「田瀬っ子祭り」での温かな交流を通して、相手の気持ちを考えながらよりよく生きる基礎を培う。</p> <p>2 活動の概要</p> <p>(1) ふるさと田瀬のよさを学ぶ学習の推進</p> <p>第1・2学年は生活科で「相手に楽しんでもらえるおもちゃ」を工夫して作った。それらを使った「お店屋さん」に地域の方々・祖父母・保育園児をお客さんとして迎え、交流した。総合的な学習の時間に第3学年は「付知川」、第4学年は「歴史」、第5学年は「農業」、第6学年は「福祉」について学んだ。児童は地域に出かけ、体験活動や取材を通して「川の先生」「酪農の先生」「畑の先生」「南宮神社の先生」「高齢者福祉の先生」等、多くの地域の方々から田瀬のよさを学んでいる。</p> <p>(2) 学んだことを地域に伝える活動の充実</p> <p>生活科や総合的な学習の時間に学んだことを地域の方々へ発信する場として、地域参観日「田瀬っ子祭り」を毎年11月に実施している。この会には地域安全ボランティアや放課後クラブの方々、高齢者の会の方々を学校へ招待し、日頃の感謝の気持ちを伝えている。今年度は90名（児童数の約2倍）の来場者で賑わった。</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <p>様々な機会をとらえて日頃の感謝の気持ちを伝えている。今年度も地域行事の参加依頼にできる限り応えた。宅老所や保育園、障がい者支援施設への訪問と触れ合い、地域産業祭への参加、敬老会での合唱合奏披露等を実施した。</p> <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</p> <p>児童にアンケートをとったところ「ふるさと田瀬で好きなところはなんですか。」という質問に対して、「きれいな川がある。」「地域みんなが楽しむお祭りがある。」「地域の人がやさしい。」「地域の人たちにいろいろなことを教えてもらえる。」「自慢できる農業がある。」等、全員が好きなところを複数個挙げる事ができた。ねらいに近付きつつあると受け止めている。</p>					